

FLD 1001 形



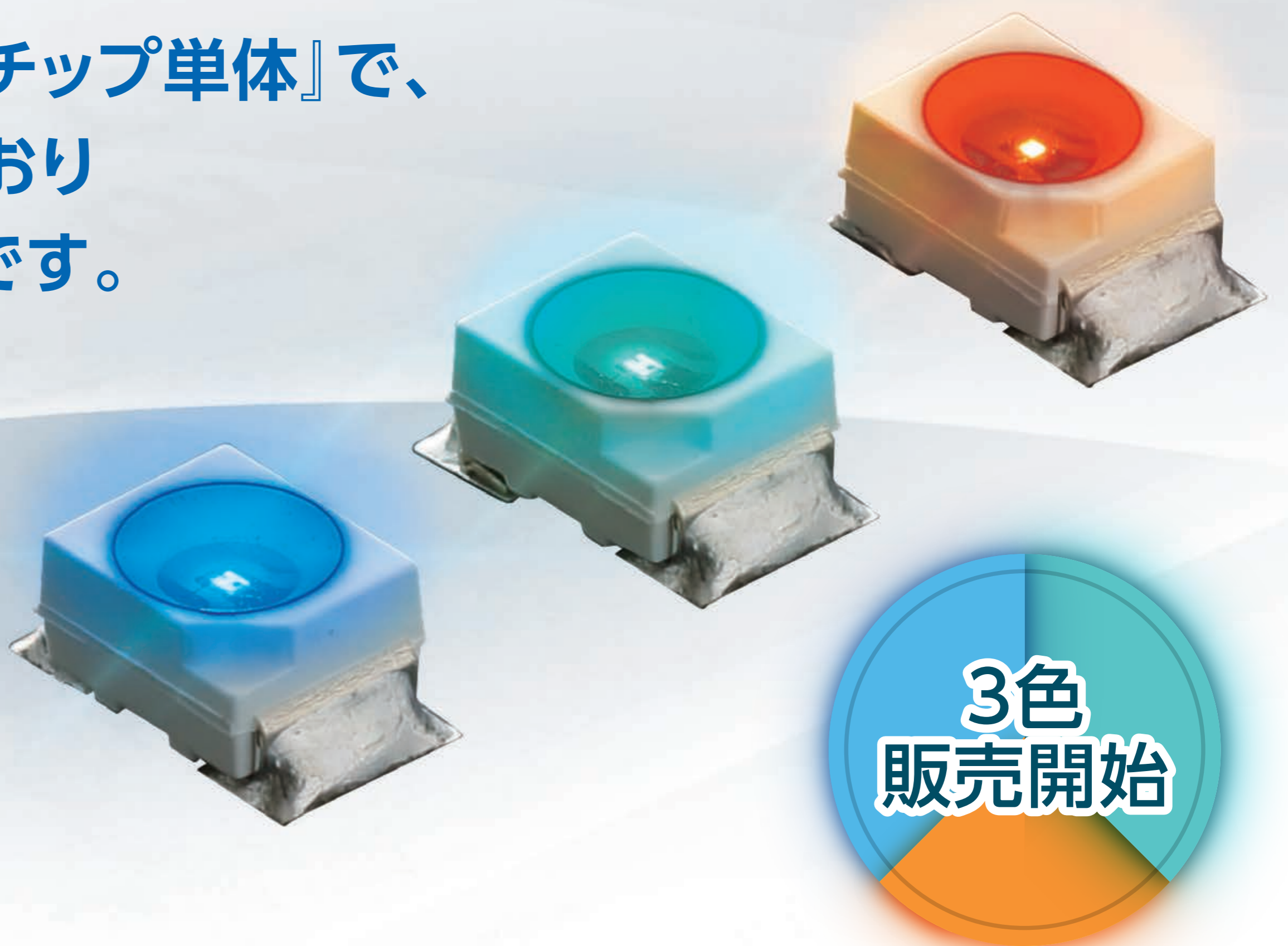
カラーバリアフリーLEDは『LEDチップ単体』で、
2016年度CUD検証に合格しており
『青・青緑・橙』の3色が供給可能です。

見え方の違い

一般色覚者が区別しやすいと感じても、
色弱者には区別しづらい色があります。

●一般色覚者

●色弱者の見え方(一例)



特長

- 1 色覚の個人差を問わず、光の点滅が確認しやすい
- 2 3色(青、青緑、橙)の組み合わせにより、色の変化や違いをより認識しやすい
- 3 本チップLEDを実装した、アセンブリ製品の提案も可能
- 4 日本国内の品質管理のもとで生産されたLED(made in JAPAN)
- 5 2016年度CUD検証合格品【認証番号:第23700号】取得

当社製品におけるカラーユニバーサルデザイン適用例

鉄道車両向け扉開閉表示灯 JNL-B形



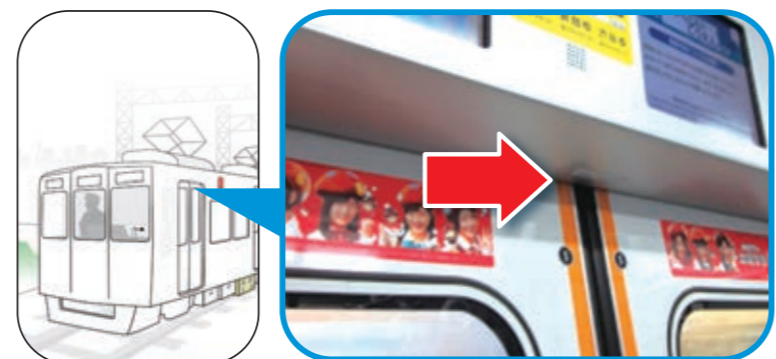
鉄道車両の扉が開く前には、開く扉側に注意喚起の音が鳴っていましたが、近年バリアフリーの観点から赤色の点滅ランプがつくようになりました。さらなるバリアフリーを目指した当社のランプは橙色の発光をするので、より多くの方に認識いただけます。

●点灯状態



☀️ 視認しやすい橙色発光を採用!

●使用例



電車の扉の上についているランプです

歩行者用押しボタン箱向け表示灯 WLB28-A形



従来の押しボタン信号は注意喚起の意味を持たせるために、赤色発光を採用していましたが、色弱の方には非常に認識しにくい表示となっていました。白色発光と背景の色を工夫することでカラーユニバーサルデザインを実現しました。

●点灯状態



従来品 バリアフリー品

●使用例



従来品 バリアフリー品

色覚模擬レンズを通した時の見え方
模擬レンズを通すと従来品は文字が見えなくなりますが、バリアフリー品はしっかりと文字が見えます。